応募方法

応募用紙に必要事項をご記入のうえ、郵送、ＦＡＸ、メールのいずれかでお申込みください。

※メールでお申込みの場合は、件名を「劇場塾参加申込み」としてお送りください。受付後、こちらから確認メールを返信いたします。

応募締切

全コース共通　10月30日(金)必着

※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。結果は、10日前までに郵送にてお知らせいたします。

※複数クラスへの参加も可能です。

お申込み・お問合せ

北九州芸術劇場「劇場塾2015」係
KITAKYUSHU PERFORMING ARTS CENTER

〒803－0812 北九州市小倉北区室町１－１－１－１１

●地域文化の担い手育成クラス　（担当：加賀田、安元、中村）
TEL 093-562-2620 ／ FAX 093-562-2633
MAIL kitageki@kicpac.org

●劇場基礎クラス　（担当：樋田、大久保、杉山）
TEL 093-562-2650 ／ FAX 093-562-2588
MAIL technical@kicpac.org

会場

【新幹線】新幹線小倉駅より西小倉駅へ在来線で2分、西小倉駅より徒歩3分
【空　港】北九州空港よりエアポートバスで小倉駅まで約40分
【Ｊ　Ｒ】小倉駅より徒歩10分。西小倉駅より徒歩3分
【バ　ス】室町・リバーウォーク(リバーウォーク北九州前)下車
【乗用車】北九州都市高速、小倉駅北ランプから車で5分
※専用の駐車場はございません。リバーウォーク北九州(30分150円)ほか周辺の駐車場をご利用ください。

劇場塾2015 応募用紙

※枠内に収まるようにご記入ください。※コピー可。

希望　※希望クラスの□に✓をつけてください。

- 地域文化の担い手育成クラス
  - □ 地域文化コーディネーターコース（11/16・19～21、11/22見学希望の方は✓を→ □ ）
  - □ ワークショッププログラム作成コース（11/16・19～22）
- □ 劇場基礎クラス（12/1～2）

フリガナ 氏　名	性別 男 ・ 女	年齢
住所　〒		
所属先（文化施設等にお勤めの方は施設名をお書きください）		
職種		勤続年数
電話番号	携帯電話	
MAIL		
応募動機		

ご記入いただいた個人情報は、本講座のために使用いたします。また、今後の講座のご案内などを送付させていただく場合がございます。今後のご案内の希望をされない場合は、右記の欄にチェックをお付けください。　□ 希望しない

地域文化の担い手育成クラス
2015年 11/19(木)~22(日)

劇場基礎クラス
2015年 12/1(火)~2(水)

参加者募集

北九州芸術劇場
KITAKYUSHU PERFORMING ARTS CENTER

2015

劇場塾

［会場］
北九州芸術劇場 大ホール・小劇場・創造工房 ほか

主催：(公財)北九州市芸術文化振興財団　共催：北九州市
助成：(一財)地域創造　平成27年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

劇場や舞台芸術を取り巻く環境は日々変化を続けています。北九州芸術劇場では、これからの地域文化の振興を担う人材（市民、劇場・文化施設等のスタッフ、地域のアーティスト等）の育成や人的ネットワークの形成を目的に、舞台芸術分野の専門家を招いたレクチャーやワークショップなどを開催します。皆さまのご参加をお待ちしています。

文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

地域文化の担い手育成クラス

地域の文化を担うコーディネーター、ワークショップ実施者を育成するためクラスです。
双方向のゼミ形式で行い、ワークショップ体験なども行います。

▶ 地域文化コーディネーターコース

▶ ワークショッププログラム作成コース

11/16（月）

19:00 ～ 21:00

（共通プログラム）オープンレクチャー vol.2　会場：小劇場

■「なぜワークショップを教育現場で行うのか？」講師：苅宿俊文（青山学院大学 社会情報学部 教授）

学校の授業で子ども達がワークショップを受けることやアーティストからもたらされることで生まれる「効果」とは何でしょうか。アウトリーチ・舞台芸術の可能性について、教育的立場からお話しいただきます。

オープンレクチャーとは
地域のみなさんが芸術をより深く知り、楽しむきっかけとなることを目指し、舞台芸術に関わる様々な講師をお招きする通年実施企画です。どなたでもご参加いただけます。詳細は北九州芸術劇場HPまで。

2015年11月19日（木）－21日（土）　3日間

11/19（木）

17:00 ～ 21:00

■オリエンテーション

■ワークショップ体験　小学校などの教育現場や福祉施設などで行われているワークショップを実際に体験してみます。講師は、様々な現場でのアウトリーチ経験が豊富なアーティスト2組です。

※ワークショップ体験は、2コース合同で行います。

・ワークショップ①　17:30 ～ 19:00〔アーティスト〕有門 正太郎（演出家・俳優、有門正太郎プレゼンツ代表）
・ワークショップ②　19:30 ～ 21:00〔アーティスト〕田上 豊（劇作家・演出家、田上パル主宰）

11/20（金）

18:30 ～ 21:00

■「地域文化コーディネーターとは何？」

講師：津村 卓（北九州芸術劇場 顧問、上田市交流文化芸術センター館長）

芸術が持つ潜在的な力を多様な人々に出会わせることがコーディネーターの仕事です。今社会で“地域文化コーディネーター”としてどんな人材が求められているのか、参加者みなさんの活動紹介などを経て意見交換を行います。

11/21（土）

11:00 ～ 20:00

■「アーティストがコーディネーターに求めること」

講師：岩崎 正裕（劇作家・演出家、劇団太陽族主宰、AI・HALLディレクター）
津村 卓（北九州芸術劇場 顧問、上田市交流文化芸術センター館長）

アーティストがコーディネーターに求めることとは何でしょうか。プログラム作りの現場見学や1日目のワークショップの解説を踏まえ、講師が取り組むアウトリーチの事例紹介を交えながら、一緒に考えます。

■「地域文化コーディネーターとして、考えてみよう」

講座を経て、参加者の皆さんが、アウトリーチ・WSを企画立案し、講師も交えて様々な意見交換を行います。

■「ワークショッププログラム作成コース」ワークショップ発表 ～ フィードバック 見学

◎11/21（土）講座終了後、交流会あり（2コース合同）

11:00 ～ 19:00

■プログラムづくり

2015年11月19日（木）－22日（日）　4日間

17:00 ～ 21:00

■オリエンテーション

11:00 ～ 20:00

■プログラムづくり

プログラムづくりは、
以下の講師とアドバイザーが担当します。
●講師：
有門 正太郎（演出家・俳優、有門正太郎プレゼンツ代表）
田上 豊（劇作家・演出家、田上パル主宰）
●アドバイザー：
岩崎 正裕（劇作家・演出家、劇団太陽族主宰、AI・HALLディレクター）
津村 卓（北九州芸術劇場 顧問、上田市交流文化芸術センター館長）

11/22（日）

★「ワークショッププログラム作成コース」の最終日22日（日）に行われる最終成果発表、フィードバックの見学も可能です。見学希望の方は、申込み用紙にご記入ください。

11:00 ～ 17:00

■プログラムづくり ～ 成果発表・フィードバック

対　象：地方公共団体文化行政担当者、公共ホール職員、地域文化コーディネーターに関心のある教育・福祉・NPO等関係者、アーティストなど
定　員：15名程度
参加費：3,000円

対　象：福岡県内で継続的に演劇作品の創作を行い、地域でのワークショップ、アウトリーチ実施に関心のある個人、団体。年齢35歳まで（団体の場合、代表者の年齢）。
定　員：2組　※応募多数の場合は書類選考あり
参加費：3,000円（1組）

劇場基礎クラス

公立文化施設等における、安全な運用や基礎的な知識を学ぶクラスです。
レクチャーや作品創りの体験などを行います。

◇テーマ◇ 公立文化施設における舞台技術者の役割とは

2015年12月1日（火）－2日（水）　2日間

12/1（火）

13:00 ～ 18:00

■「公立文化施設における舞台技術者の役割」

講師：西村 充
（元いわき芸術文化交流館アリオス 施設管理課長 舞台技術マネージャー）

舞台技術者と言っても、様々な役割・職能を持った人たちがいます。公共ホールにおいて求められる知識・能力・役割はどのようなものか、お話しいただきます。

■催しもの体験

北九州芸術劇場は、『創る』『育つ』『観る』そして『支える』という4つのコンセプトのもとに運営しています。これらを踏まえて、催しものが本番を迎えるまでのプロセスやコミュニケーション方法を舞台技術者としての多角的な視点でとらえ、その役割を実際に体験します。

■施設見学

12/2（水）

10:30 ～ 17:30

■催しもの体験 ～ つづき

■意見交換会

対　象：公共ホール職員（技術、制作、管理等に携わる職員）、指定管理者、地域の文化団体、地方公共団体文化行政担当者、学生など
定　員：20名程度
参加費：2,000円

ご参加、ご応募、お待ちいたしております。
いずれもお気軽にお問い合わせください。

劇場塾2015 講師プロフィール（講座順）

有門 正太郎（演出家・俳優、有門正太郎プレゼンツ代表）

1975年生まれ、北九州市出身。倉本聰主宰「富良野塾」現「富良野group」、泊篤志代表「飛ぶ劇場」所属。高校演劇専科の講師経験を活かし、北九州芸術劇場「日韓合同キャンプ、チャレンジ！えんげき2009」の総合演出なども務める。役者として様々な全国ツアー公演などに参加する傍ら、自身の団体「有門正太郎プレゼンツ」を2005年より始動、作・演出も務め「笑顔になれば何でも出来る」を合い言葉にアウトリーチ活動も行っている。役者として主な出演作品に、富良野塾公演『今日、悲別で』『走る』（作・演出：倉本聰）、北九州芸術劇場プロデュース『錦鯉』（作・演出：土田英生）『江戸の青空』（作：千葉雅子、演出：G2）、時空の旅『シラノ・ド・ベルジュラック』（演出：永山智行）など。

田上 豊（劇作家・演出家、田上パル主宰）

1983年熊本県生まれ。桜美林大学文学部総合文化学科卒業。2006年劇団「田上パル」を結成。方言を多用し、疾風怒濤のテンポと、遊び心満載の演出は「体育会系演劇」とも評される。大学在学中にワークショップデザインを研究し、現在、教育現場を中心に、創作型、体験型のワークショップを全国各地で実施している。演劇部の嘱託顧問や、総合高校での表現科目「演劇」の授業を受け持つなど、教育現場での経験も持つ。高校生、大学生とのクリエーション、リーディング、市民劇団への書き下ろしなど、劇団外での創作活動も展開。現在、富士見市民文化会館キラリ☆ふじみアソシエイトアーティスト、青年団演出部所属。

津村 卓（北九州芸術劇場 顧問、上田市交流文化芸術センター館長）

1985年扇町ミュージアムスクエアを企画、プロデューサー。1987年AI・HALL（伊丹市立演劇ホール）チーフプロデューサー。1995年より一般財団法人地域創造プロデューサー。1997年びわ湖ホールプロデューサー、2003年より北九州芸術劇場チーフプロデューサー、2008年より館長を兼務、2015年より顧問。東京都文化施設指定管理者評価委員、東京都芸術文化評議会文化プログラム検討委員ほか。2015年より長野県上田市交流文化芸術センター館長。

岩崎 正裕（劇作家・演出家、劇団太陽族主宰、AI・HALLディレクター）

1963年三重県鈴鹿市生まれ。1982年大阪芸術大学舞台芸術学科入学。同年「劇団大阪太陽族」（現：劇団太陽族）を旗揚げ。1994年「レ・ボリューション」で第1回OMS戯曲賞佳作、1997年「ここからは遠い国」で第4回OMS戯曲賞大賞を受賞。2014年「それからの遠い国」で平成26年度第69回文化庁芸術祭〈演劇部門〉関西参加公演の部 優秀賞受賞。各地でプロデュース公演・市民参加舞台の作・演出を手掛け、舞台芸術普及活動を広く展開している。現在、AI・HALL（伊丹市立演劇ホール）ディレクター、大阪芸術大学短期大学部講師など。

西村 充（元いわき芸術文化交流館アリオス 施設管理課長 舞台技術マネージャー）

1968年帝国劇場照明部に所属したのち、芸術座、新宿コマ劇場、博品館劇場、シアターアプル、スパイラルホール等の各劇場で、管理・運営に携わりながら、オペレート及び照明デザインを手掛ける。1996年より世田谷パブリックシアター照明課長。2008年よりいわき芸術文化交流館アリオス施設管理課長（舞台技術マネージャー）。また、劇場設計アドバイザーとして東急文化村、世田谷パブリックシアター、北九州芸術劇場、いわきアリオス等の設計にも関わる。現在、日本女子体育大学体育学部 舞踊学専攻科非常勤講師、茅野市民館 コアアドバイザー。